沼津高専の図書館と英語多読環境

沼津工業高等専門学校図書館 教養科　藤井数馬　鈴木久博 成田智子 村上真理

第3回シンポジウム「図書館多読への招待」　2016年11月27日（日）

地域貢献という観点からの高専図書館

●*The public libraries in the middle income areas were open in the evening; those in the low income areas were not.* (Newman & Celano, 2001)
●*Children who live close to public libraries read more over the summer.* (Heyns, 1978)
→地域の図書館があるか、その図書館がどのくらい開館しているかは、子どもの読書時間や地域住民の収入と関係がある。

●高専の図書館は、高等学校の図書室や大学の図書館と比べ、地域貢献においてユニークな可能性を持っている。
高校の図書室：図書館を有しておらず、校内の一室を図書室にしているところが多い。
司書教諭が常駐しているとは限らない。
教室が入っている校舎内を通って図書室に行くのは授業環境の点で難しい。
大学附属の図書館：蔵書数は多いがその多くは専門書である。
学外利用者の利用を認めている図書館は多くない。

●沼津高専の図書館：
①学外利用者への貸出サービスを学生とほぼ同じ条件（5冊まで2週間以内の貸出が可能）で提供。
②図書館のある建物は移動教室があるのみで、利用者が増えることが学生の学習環境の悪化になりにくい。
③ほぼ毎週、土日ともに開館している（H26年度の開館日は303日）。
④地域住民に貸出サービスを行うだけの蔵書数がある（100,000冊以上の蔵書）。
⑤国立の教育機関であり、地域に根付き、地域に貢献していく必要がある。

HP上でも地域住民の貸出を行っている旨を告知しているが、利用はほとんどない状況。

	H23年度	H24年度
貸出冊数	137	73

高専図書館を活用して、地域住民の学びの環境作りに貢献することは可能。
特に、高専の強みである＜工学系分野＞か、＜地域住民の学習ニーズが高い分野＞での貢献

（地域の学習ニーズがある）英語多読
<学生の教育指導と結び付けが可能>

沼津高専における英語多読環境の整備

●H24年度から授業内で多読を取り入れるために、学内外から資金を集め、図書館に英語多読図書を拡充していった。現在は、静岡県東部で最大規模の蔵書。
授業内多読をH24年度から開始。

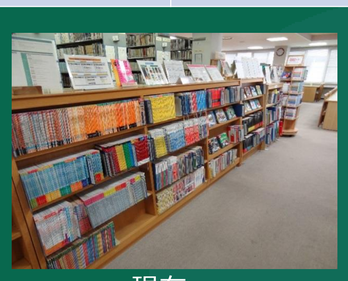
	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28/10/1現在
多読図書冊数	676	1,332	2,511	3,197	3,900	4,175

平成23年度末

平成24年度末

平成25年度末

平成26年度末


現在

多読授業風景

公開講座による地域住民の利用増加

●図書館に開架されている英語多読図書が2,000冊程度を超えた段階で（平成25年度）、地域住民を対象に、英語多読に関する公開講座を開催。
●申込者や参加者は増加傾向にあり、地域住民に英語学習に対する一定のニーズがあることが分かる。課題としては、講座後のフォローができていないこと。

	H25	H26	H27	H28
申し込み人数	19	29	37	19

公開講座風景

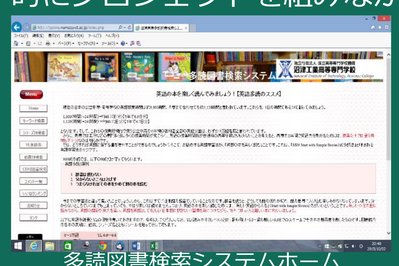
●この公開講座の開講が、図書館の活性化につながった。公開講座を開始したH25年度から学外利用者による貸出が増え、そのうち90%以上が多読図書の貸出。現在では学外利用者による貸出は、全体の貸出総数の約15%程度になっている。このことは、講座開講後も図書館を利用し続けている方が多いという意味。

	H23	H24	H25	H26	H27
			公開講座		
学外利用者による貸出（冊）	137	73	469	1,693	2,138
学外利用者による多読図書貸出（冊）	0	0	425	1,648	1,959
全体貸出（冊）	8,942	10,537	12,589	17,070	14,109

沼津高専図書館貸出冊数変化

多読支援としてのウエブサイトの開設と多読のアウトプット活動としてのミニビブリオバトル

●沼津高専図書館を利用して多読をする方への継続した多読支援については、平成26年度末に立ち上げた「沼津高専多読図書検索システム」を活用。
本校図書館に所蔵されている多読図書をデータベース化し、シリーズ・ＹＬ・語数・キーワードをもとに検索でき、レビューも書き込める。今後は、近隣の公立図書館と協同的にプロジェクトを組みながら活性化していきたい。URL: http://tadoku.numazu-ct.ac.jp/index.php

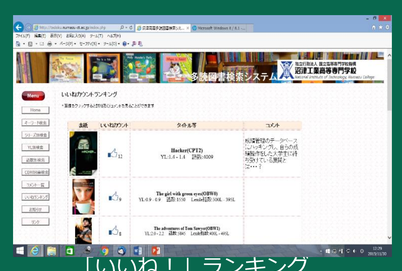

多読図書検索システムホーム

シリーズ別検索

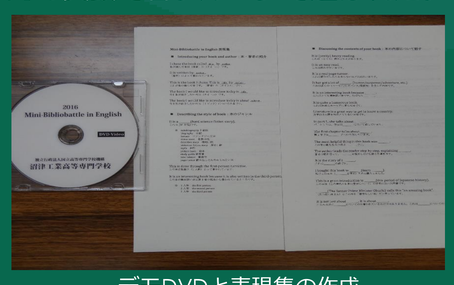
YL別検索

語数別検索

キーワード検索


「いいね！」ランキング

●英語多読というインプット活動を、アウトプット活動に繋げるための「ミニビブリオバトル」（3分間の書評＋２～３分のディスカッション）の実践（本校３年生対象、９月の授業で実施）
教材の共有化を目的に、ミニビブリオバトルとはどのようなものかが分かるように、デモDVDを作成。さらに、ミニビブリオバトルでよく使う表現をまとめたビブリオ英語表現集を作成。
９月の実践で各グループで選ばれたチャンプ本をまとめ、沼津高専図書館内で「ミニビブリオバトルチャンプ本コーナー」を特設。「次の多読」にもつなげるための活動としても有用。


デモDVDと表現集の作成

ビブリオ準備 (グループワーク)

ミニビブリオバトル（発表）

ミニビブリオバトル（発表）

チャンプ本コーナー

参考文献

Heyns, B. (1978). *Summer reading and the effects of schooling*. Academic Press.
Neuman, S. & Celano, D. (2001). Access to print in low-income and middle-income communities. *Reading Research Quarterly*, 36(1), 8-26.